

非核平和学習会に参加して



湯口小5年
佐々木 華菜 さん

私は、8月4日から6日まで非核平和学習会で広島に行ってきました。被爆体験講話では、原子爆弾のおそろしさと平和の大切さをあらためて感じました。

私はこの非核平和学習会に参加して、原爆のこわさや悲しさ、平和の大切さやありがたさをあらためて知ることができました。このことをもっと多くの人に教えていきたいです。私たちは、平和な日本に生まれたけれど、原爆を体験した人たちはどれだけつらい、悲しい思いをしたのかを知ることができ、平和の大切さやありがたさも知ることができて、本当に良い3日間でした。広島に行けて良かったです。

非核平和学習会に参加して



南城小5年
岩館 聡志 さん

僕は、非核平和学習会に参加し、8月4日から6日まで広島に行ってきました。昨年、姉がこの学習会に参加し、僕も行ってみようと思ったことがきっかけです。

爆発の瞬間、強烈な熱線と爆風、放射線が放出され、街は一瞬で壊滅し16万人もの人々の命が奪われました。たった一発の爆弾でこんなにひどい被害が出るなんて、原子爆弾は本当に恐ろしいものだと思います。

戦争は、街を破壊し、多くの人を犠牲にします。けれども、世界では今も戦争が起きています。僕は、世界が平和になるよう、原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さを、一人でも多くの人に伝えていきたいと思っています。

みんなに伝えたい、平和への思い



石鳥谷小5年
佐藤 陽生 さん

戦後70年の今年、僕は原子爆弾の恐ろしさや平和の大切さを学びたいと思い、非核平和学習会に参加しました。僕はこの学習会に参加するに当たって石鳥谷小学校のみんなと平和について考えながら千羽鶴を折って、平和記念公園に届けたいと思いました。準備の時間が少なく、5年生に300羽折ってもらい、残りは自分と家族で完成させました。平和記念公園には12歳で白血病で亡くなった佐々木禎子さんをモデルにした「原爆の子の像」がありました。僕らと同じように平和を願う人がたくさんいると感じました。

千羽鶴作りは本当に大変だったけど、みんなの気持ちを届けることができ本当に良かったです。

忘れてはいけない



南城小6年
関 清泰 さん

僕は、非核平和学習会に参加して8月4日から8月6日まで広島に行ってきました。

広島に行く前まで、原子爆弾がどのくらい恐ろしいものなのか分かっていませんでした。でも実際に行ってみると、自分が思っていたものよりはるかに怖いものだということを実感しました。被爆体験者のお話を聞いて、原子爆弾の爆風や火災、放射線の被害について知ることができました。原子爆弾によって、その時に亡くなった人だけではなく、70年間たった今でも放射能を浴びた人たちの苦しみを忘れてはいけないと思いました。

原爆をなくそう



宮野目小5年
高橋 実香 さん

私は、広島に行って被爆地を自分の目で見て、原爆のおそろしさを初めて知ることができました。戦争を始めたのは、国のえらい人たちです。でも、ぎせいになったのは、何も知らない人でした。

私は、戦争は絶対にいけないことや、原爆のおそろしさを、一人でも多くの人に知ってもらうために、今回学んだことを、身近な人から伝えていこうと思います。そして、被爆体験者の方が話していた、「学校に行けること、食べられること、家族がいることを幸せに感じて下さい」という言葉を、強く心にきざんで、平和は当たり前ではなく、ありがたいものだとすることを忘れないようにしたいです。

■非核平和学習会

- ▷日程 8月4日～6日(3日間)
- ▷場所 広島県広島市、呉市
- ▷内容 被爆体験講話、平和記念資料館・広島赤十字原爆病院などの見学、平和記念式典への参列
- ▷参加者 市内小学生9人



呉市海事歴史科学館でガイドの説明を受けながら展示に見入る子どもたち



被爆体験講話の様子。原子爆弾を体験した被爆者自身の言葉から戦争の悲惨さ、平和の大切さを学びました

花巻市は非核平和都市宣言のまち

非核平和への願い

本市は、全ての国の核兵器の廃絶と軍縮を願い、平成18年3月に「非核平和都市」を宣言しています。

この宣言の理念に基づき開催した「非核平和学習会」では、市内の子どもたちが戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさなどを学びました。

学習会で子どもたちが感じたことを通して、平和の尊さについてあらためて考えてみましょう。

核兵器の惨状を今に伝える原爆ドーム

